

講義・演習概要（シラバス）

第2部課程第170期（平成26年5月8日～平成26年7月17日）

課 目 名	8-2 スピーチ演習
時 限 数	3 時限
担 当 講 師	◆講義（1 時限）：(株)話し方研究所代表取締役会長 福田 健 中央大学法学部卒業後、1967 年 言論科学振興協会の話し方運動に参加。1983 年 (株)話し方研究所 所長、2004 年 に会長に就任。 ◆演習（2 時限）：(株)話し方研究所講師 ・島野 浩二・長崎 真紀子・安生 祐子・新井 均 ・奥山 晴治・小島 健二 ・内田 賢司
ね ら い	行政を取り巻く環境の急激な変化に対応するためには、内部職員の育成や住民の信頼・協力の獲得の土台となるコミュニケーション能力の向上が必須である。施策を外部に説明し、理解と納得・協力を求めるプレゼンテーション・スキルの向上を総括的講義と演習を通して修得する。
講 義 概 要	【講義】 1. プレゼンテーションを支えるコミュニケーション 2. 聴衆をひきつけるコミュニケーションの方法 3. コミュニケーションの目的と機能 結び コミュニケーションとプレゼンテーション 【演習】 1. 講義「スピーチの基本」・・・大勢の前で話す際の基本形と準備 2. 実習：3 分間スピーチ「〇〇を提案する」・・・【事前準備あり】 自由に〇〇を設定し、聴衆を特定／一人ずつ発表(3 分) 講師コメント 3 分 ※実習の途中で解説「表現の 3 原則」が入る場合があります。
受講上の注意	実習の 3 分間スピーチについては、事前に準備をしておいてください。 ◆スピーチタイトル 「〇〇を提案する」 1. 「〇〇」は自由に各自設定する 2. 聴衆を特定する（例：住民・後輩・協力会社等） 以下は参考例です。 （例）「住民にボランティア参加を提案する」 （例）「協力会社に業務の改善を提案する」 （例）「職場の後輩に部署の年度方針を提案する」
使 用 教 材	・講義レジメ（その他、参考資料配付予定） ・「こんな簡単な話が、なぜ通じないのか！」福田 健著（アールズ出版） ・テキスト「スピーチコース」（話し方研究所）
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	「スピーチ演習」